

## ○復活によって示された神の栄光：

### 1. \_\_\_\_\_の前に立つイエス様(38-40)

▶「臭くなっている」

「死臭は日常生活ではまず嗅ぐことのない匂いですが、特殊清掃の専門家によると以下のような食品の腐敗臭に近いとされています。くさやが腐ったような臭い、生ゴミを長期間放置した際の腐敗臭、腐った肉や魚から漂う強烈な生臭さ。人によって感じ方は異なりますが、共通しているのは『一度嗅ぐと忘れられないほど強烈で、吐き気を催すレベルの異臭』であるという点です。」

▶「わたしは言ったではありませんか」

▶「神の栄光」

※出エジプト記34:6-7

「主、主は、あわれみ深く、情け深い神、怒るのにおそく、恵みとまことに富み、恵みを千代も保ち、咎とそむきと罪を赦す者、罰すべき者は必ず罰して報いる者。父の咎は子に、子の子に、三代に、四代に。」

### 2. \_\_\_\_\_を示すイエス様(41-44)

▶「叫ばれた」

▶「大声」

※ヘブル1:2-3

「この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました。神は、御子を万物の相続者とし、また御子によって世界を造られました。御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現れであり、その力あるみことばによって万物を保っておられます。…」

「主の御声が響き渡った瞬間、恐怖の王(死)は即座に、その捕虜を解放し、貪欲な墓もその獲物を吐き出しました。虜にされていた者たちは解放され、キリストは罪と死、そしてサタンに対する勝利者として立たれたのです。この出来事によって、しもべの姿を取られたお方が、なおもご自身の御手に『死とよみの鍵』を握っておられることが明らかにされました。…これほどの驚くべき奇跡を行われるお方は、まさに『万物の上であり、とこしえにほめたたえられる神』(ローマ9:5)にほかなりません。全能の救い主を与えてくださった神に感謝します。このような御手に握られている主の羊が、どうして滅びることがあるのでしょうか。」(アーサー・ピンク)

### 3. \_\_\_\_\_に対する応答(45-46)

※エペソ2:1-3

「あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、そのころは、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従って、歩んでいました。私たちもみな、かつては不従順の子らの中にあって、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行い、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。」